

## 臨床研究

化学療法室を利用する患者さんのインフルエンザワクチン接種状況の調査

## 研究期間

データ収集期間2020年11月1日～2020年12月31日

データ分析期間2020年11月1日～2021年3月31日

## 研究機関

地方独立行政法人市立吹田市民病院呼吸器・リウマチ科（腫瘍内科）

## 目的

がん種やがん治療により、がんの治療中の方の多くは、がんではない方と比べると、免疫機能が低下する傾向があります。免疫とは、感染症から自分の体を守る仕組みで、体内に入ってきた微生物を攻撃したり、一度かかった感染症にかかりにくくしたりする働きがあります。免疫機能が低下していると、インフルエンザにかかった場合に、通常より重症化する危険性があります。インフルエンザワクチンを接種してもインフルエンザにかかってしまうことはありますが、重症化を予防する効果があるといわれています。このように免疫が弱ってしまう中であってもインフルエンザへの抵抗力を高めるために、がんではない方以上に、がんの治療中の方にはインフルエンザ予防接種が勧められています。

しかしながら各種がん化学療法において、ガイドラインに記されているのはほとんどなく、化学療法前に接種が推奨されていますが化学療法中にインフルエンザワクチンの接種にかんする指針や情報は極めて少なく、実情がはっきりしていません。

そこで我々は、化学療法室を利用する患者さんのインフルエンザワクチンの接種状況、接種のタイミング、副反応の状況を調査することにより、患者さんへの指導や、患者さんが安心して円滑に化学療法が施行できる環境が整えられると考えています。

## 方法

2020年11月1日から12月31日にかけて化学療法室を利用するがん患者さんを対象として化学療法を実施する患者さんを対象とし、インフルエンザワクチン接種施行率

がん種別インフルエンザワクチン接種率、インフルエンザワクチンの接種時期と化学療法の投与日とのタイミング、インフルエンザワクチンの副反応の調査、接種について主治医に相談したかなどを調査します。

## 意義

化学療法施行中にどのようなタイミングでインフルエンザワクチンを接種したらよいかが可能になる可能性があります。

## 個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから身体所見に関するデータ収集および投薬状況に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目

的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果はインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後5年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会や論文に発表、投稿することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。実施にあたり当院倫理審査委員会の承認を得ています。

## 問い合わせ等の連絡先

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人市立吹田市民病院 呼吸器・リウマチ科（腫瘍内科） 宮崎昌樹

住所：564-8567 吹田市岸部新町 5-7 電話番号：06-6387-3311